

令和6年度 学校評価アンケート結果のまとめと考察

〔 九十九里町立豊海小学校 〕

1 学校の教育目標

豊かに育つ豊海っ子 （徳）豊かな心 （知）豊かな学び （体）豊かな体力

2 本年度の重点目標

- ① やさしく強い心の育成
- ② 基本的生活習慣の育成
- ③ 基礎・基本の定着
- ④ 体力・運動能力の向上
- ⑤ キャリア教育の推進
- ⑥ 安心・安全な環境の構築
- ⑦ 家庭・地域と一層の連携

3 具体的な評価項目の取り組み、達成状況（別紙「令和6年度アンケート集計まとめ」を基に評価）

A 十分達成されている（100%～85%）

B 達成されている（84%～75%）

C 取り組まれているが成果が十分でない（74%～65%） D 取り組みが不十分である（64%～）

評価項目と評価	結果及び理由 アンケート結果から
①学校目標及び基礎・基本の定着を図る。 B	学校教育目標に関する項目①～③においては、②「よく考え学ぶ子」の評価は児童 67%、保護者 70%、職員 87%とやや低くなっているものの、①～③の全体としては高く、年間を通して職員が目標実現に向けて取り組んだ成果と言える。特に⑧「ICT を積極的に活用している」についての回答は児童も保護者も職員も 90%を超え、日頃の取組が評価されている。また、昨年度新たに⑥「先生は一人ひとりのことを考えている」という項目を設けた。この回答結果から、保護者からの合理的配慮等の要望にも積極的に配慮し、個に応じた指導をしていることが伝わっている。 次に、④「楽しく学校に通う」は、昨年度より数値は下がっている。これは、学校行事が徐々にコロナ前の取組に戻る中で、児童同士の関わりが増えたことによるトラブルや、学習への不安等が要因の一つであると考ええる。今後も、アンケートや相談窓口、SC、保護者との連携を充実させ、児童の心に寄り添いながら指導にあたりたい。また、学習面では、少人数指導担当教諭や学習支援員等の人材を有効に活用し、より効果的な授業形態を工夫していきたい。 昨年も低い数値の⑨「家庭学習や読書の取り組み」については、今年度も低い。家庭での学習習慣の定着に向けて、保護者と連携を強化するとともに、家庭学習の方法を今後も検討していく。

今年度の主な取り組み ・朝のドリルタイム・読書タイムの活用、ノート指導の充実と学習に向かう姿勢の支援 ・個に応じた指導や少人数指導の充実（少人数担当職員、学習サポーター、学習支援員の活用） ・ICTを活用した表現力の育成（研修） ・家庭学習週間の位置付けによる自主学習の奨励、自宅でのタブレット学習 ・外部指導者によるICT 機器を活用したプログラミング教育の授業実践 ・月１回程度の全校テスト（漢字）・（計算）、４～６年は思考力テストの実施	
②安心できる学習環境 ③基本的な生活習慣の育成を図る。 A	⑩「あいさつ、基本的な生活習慣」に関する項目は、昨年度よりも高い。これは、職員が指導している内容に対して、児童も成果を実感できていることや、学校での取組が保護者に伝わっていることが理由だと考える。 ⑫「いじめ等の問題に適切な対応をしている」に肯定的な回答をしている児童は、９３％と高い。これは職員のいじめ対策やいじめ対応が児童に伝わっているためである。また、職員の回答では、⑪「ルールやマナーを守って生活している」が７３％と比較的低い。これは、豊海の児童はもっとできるのではないかと期待を含めての厳しい評価である。保護者の回答は、⑬の「保護者からの連絡や相談に適切に対応している。」が９０％と高い。このことから保護者の困り感に対して、個別に対応したり、SC や SSW、訪問相談員等につないだりしていることが保護者に理解されていることがわかる。
今年度の主な取り組み ・教育相談の充実（月１回学校生活アンケート、学期１回全児童と教育相談、相談ポスト） ・生徒指導委員会での情報の共有、意見交換、対応協議、SC、SSW との連携、町の長欠会議 ・特別支援教育の校内体制の充実（合理的配慮の提供、インクルーシブ教育の推進）	
④体力・運動能力の向上を図る。 A	⑭「体力や運動能力の向上を図っている」では、運動会やマラソン大会、業間体育、運動部活動などを効果的に実施していることが、児童の運動意欲を高め、体力の向上につながっていると、保護者にも伝わっているのだと考える。
今年度の主な取り組み ・体力向上委員会の定期的な開催 ・業間運動の充実による日常的な運動の実施（マラソン、短縄跳び、長縄跳び）	
⑤安全指導や保健指導の充実を図る。 A	⑮「交通安全や不審者など、安全に配慮している」では、児童も保護者も職員も９０％以上と高い。これは、保護者の協力により実施している交通指導や、実際に想定した避難訓練等の活動が保護者に理解されているためだと考える。 ⑯「手洗いや歯磨きなど、健康に配慮している」では、やや児童が低いので、今後は、取組んでいる児童に声をかけ、評価していきたい。

今年度の主な取り組み - 交通安全教室、避難訓練（地震・津波・火事・不審者対応、引き渡し訓練）、朝の交通指導 - 保健指導（ブラッシング指導、感染予防、薬物乱用防止教室）	
⑥「地域とともにある学校」に向けた、家庭・地域とのより一層の連携を図る。 A	昨年度からコミュニティスクールが始まり、あらゆる場面で地域との連携を深めることができた。特に「豊海応援隊」の活動で、田植えや稲刈り、郷土芸能鑑賞や体験など地域と協力して、教育活動を充実させることができた。
今年度の主な取り組み - コミュニティスクールの実施 - 豊海応援隊との連携 - 地域の公の機関との関わり（町歯科衛生士による歯科教室・人権教室・租税教室等） - 学校だよりや学年だより、コミュニティスクールだよりによる情報発信	
⑦働き方改革の一層の推進を図る。 B	勤務時間外在校時間調査では、月45時間を超える職員の人数は昨年に比べると増加している月もあれば、減少している月もある。やはり、行事が立て込んでいる月はどうしても在校時間が長くなるので、行事の実施時期の見直しや精選が必要であると考える。
今年度の主な取り組み - 働き方改革推進委員の設置、マイノー残業デーの設置（自己申告で月2日以上） - 職員に在校時間の現状を伝える。	

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
- よく考え学ぶ子の育成 - 家庭学習の習慣化、読書の奨励	- 保護者の自由記述からも、授業や学習についての意見や学校生活についての意見が多い。職員は研修を進め、指導のスキル向上を目指すとともに、児童との関わりを大切にしていく。 - 家庭学習については、実態に合わせた内容の検討が必要であると感じる。加えて保護者との連携方法も検討する。読書については、朝のおはなし会や朝の読書タイムなど児童の読書環境を整える。